

岡山県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業に係る証明書
(原疾患治療実施医療機関)事業対象となる生殖機能が低下する又は失う恐れのある原疾患治療を次のとおり実施した
(実施予定である)ことを証明します。

令和7年 5月 1日

医療機関の所在地 岡山市北区内山下××-〇〇
医療機関の名称 □□病院
診療科 乳腺外科
原疾患治療主治医氏名 津山 次郎
(自署)

妊孕性 温存療法 を受けた者	ふりがな	おかやま はなこ		
	氏名	岡山 花子		
	生年月日 ・性別等	1994年	4月	1日生 男・女
治療方法	原疾患について			
	原疾患名(※)	左記の診断日		
	右乳癌	令和7年 3月 1日		
		診断医療機関名 (□□病院)		
原疾患に対する治療のうち、事業の対象となる治療				
事業の対象となる治療として該当するものに○を付けてください。				
〔 〕 ① 『小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン』(一般社団法人日本癌治療学会)の妊孕性低下リスク分類に示された治療 (①の場合は以下も確認すること) <input type="checkbox"/> 具体的な治療内容について、様式第1-4-2号にチェックを付け、添付済み				
〔 ○ 〕 ② 長期間の治療によって卵巣予備能の低下が想定されるがん疾患：乳がん(ホルモン療法)等				
〔 〕 ③ 造血幹細胞移植が実施される非がん疾患：再生不良性貧血、遺伝性骨髄不全症候群(ファンコニ貧血等)、原発性免疫不全症候群、先天代謝異常症、サラセミア、鎌状赤血球症、慢性活動性EB、ウイルス感染症等				
〔 〕 ④ アルキル化剤が投与される非がん疾患：全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、多発性筋炎・皮膚筋炎、ベーチェット病等				
事業の対象となる原疾患治療を開始した日又は開始予定日		令和7年 4月 1日		
妊孕性温存療法実施医療機関名		(△△病院)		
妊孕性温存療法研究促進事業(妊孕性温存療法分)の申請回数 (いずれかの番号に○を付けてください。)		① 1回目の申請 ② 2回目の申請 (1回目の申請は同一都道府県) ③ 2回目の申請 (1回目の申請は他の都道府県) →都道府県名 { } ④ 上記いずれにも該当せず、原疾患治療の証明のみ		

※1 原疾患名の欄には、がん等の診断名(例：悪性リンパ腫、再生不良性貧血など)を記載してください。

<個人情報の取扱い等について>

- 本証明書は、原疾患(がん等)の治療を実施したことの証明書です。
- 本証明書は、「岡山県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」に基づき、がん等の患者の方が妊孕性温存療法を実施した際に、県から治療費の助成を受けるために必要となります。
- お預かりした患者の方の個人情報につきましては、国の「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」及び当該事業に基づいて各都道府県で実施する事業以外には、一切の利用を行いません。
- ご不明な点がございましたら、岡山県疾病感染症対策課疾病対策班(TEL:086-226-7321)までお問い合わせください。